

■■コミケットでのインフルエンザ対策■■

毎年冬になると必ずニュースに上るインフルエンザ。人ごみ、乾燥、ホコリ、疲労、寒暖の差とコミケットの会場はインフルエンザウイルスにとって感染対象よりどりみどりの正に楽天地であると言ってよい。

ただでさえ年末の忙しい時期で疲労が蓄積していても、せっかくのコミケットともなれば多少の無理をしても参加したいと考える参加者は少なくないだろうが、ウイルスは会場内には間違いなく存在しているものとして参加者全員が防衛意識を持つことが必要なのだ。

■拡大感染を発生させないための七つの約束■

- 体調が悪いな、と思ったら早めに病院に行こう。ただの風邪だと思って市販の風邪薬でごまかしていると知らず知らずウイルスをばら撒いてしまっているということもあり得るので、注意が必要なのだ。
もちろん、インフルエンザだった場合は絶対に参加を見合わせる。
- 風邪に負けないように事前から食事や生活に注意して体力を保ち、ビタミン類を積極的に摂ったり、入浴やサウナで身体を清潔にすることで抵抗力をUPさせてコミケット当日に臨もう。
- 待機列や会場内では喉の乾燥を防ぐためにこまめに水分を補給したり、のど飴などで喉を保護。大事をとるならマスクを忘れずに用意していこう。また、会場内でも定期的うがいと手洗いをしよう。
- 身体を冷やすのは体力の消耗に直結する。防寒対策を完全にすることはもちろん、かいた汗が冷えて体温を奪われないよう、脱ぎ着しやすいように重ね着を考える、汗が残りにくい化繊系の肌着を着る、肌着やシャツの着替えを用意して行くなどの対策は必須!!
- 空腹では体温も上がらないし疲労も激しくなる。朝食をしっかり食べておくことは夏コミ以上に大切な体力維持の基本だ。入場待機列でも会期中でも時間を見つけ（あるいは意識して時間を確保して）忘れずにエネルギーになる食べ物や飲み物を摂るようにしよう。
最近では歩きならでも気軽に摂れるエネルギー食品が多数発売されているので上手に活用したい。
- せっかく会場で気をつけていても閉会后に気を抜いてやられたのでは何にもならない。閉会后は体力に余裕があるうちに帰り、しっかり夕食を摂って入浴し、早めに就寝して少しでも体力の回復に努めよう。
アミノ酸などのサプリメントは疲労回復効果を高めるのでチェックしてみると良い。
- 閉会后の打ち上げはほどほどに。冬は知らず知らずのうちに体力を大きく消耗していたりするので、つい深酔いしたり、カラオケでノリ過ぎて喉を痛め、そのまま風邪直行などということになりやすいのだ。



●手荷物確認述走録●

前回C74では全参加者を対象とした手荷物確認が行われた。その実施が発表されると各所で所持品の是非についての論議が行われていたが、そのほとんどが『折りたたみ傘は30センチ以上の長さだから持ち込み禁止なのではないか?』などの内容であり、また『30センチ以上の長さがある物品が発見されたら没収される』といった情報が流布されたりしていた。

もちろん、そんなことはない。

コミケットではこれまで、傘やカートなどを持ち込み禁止物品に加えていないし、おそらく今後も今後も加わることはないだろう。雨傘は会場まではだれでも使う雨具だし、カートもサークル参加者やコスプレイヤーにはなくてはならない道具だ。

コミケットが呼びかけているのは（その道具そのものの利便性とは切り離して）それを使うことで自分以外の誰かに迷惑をかけた、トラブルの素になったり、危険を及ぼすような状況を引き起こさないよう周囲をよく見て、時にはそれに合わせて使用を控えて欲しい、という事なのだ。

カートにも傘にも罪はない。『自分だけ良ければ』『他者への無関心』こそがコミケットを蝕み、開催さえ危うくする最悪の『持ち込み禁止』物なのだ。

